

大報
第32号

上野東部だより

2015年12月15日
発行
東部地域住民自治協議会
総務広報部会
伊賀市緑ヶ丘本町1681-8
上野東部地区市民センター内
TEL・FAX 24-3999

かえっこをしながら たのしく防災を 学ぼう!

かえっこしよう!

あそぼうさいMie

つかえなくなったおもちゃをもってあつまれ!

いざ! カエルキャラバン!

にちじ
日時: 10月12日(月・祝)13:30~16:30

かいじょう
会場: 上野東小学校(伊賀市緑ヶ丘中町 4352)

体育の日の10月12日(月・祝)、午後1時30分~4時30分、上野東小学校で子どもが楽しく防災訓練をするイベント「いざ! カエルキャラバン」が開催され、約500人が参加しました。

防災体験イベントに参加すると、ポイントがたまり、おもちゃや景品と交換できる仕組みで三重県内では初めて開催しました。

1995年の阪神大震災を教訓に、NPO法人プラス・アーツ(神戸市)が2005年に考案、これまで23都道府県で250

回開かれ国際協力機構の協力でインドネシア、タイなど16カ国でも実施されています。

今回は市レクリエーション協会などをつくる「あそぼうさいMie実行委員会」が主催、市消防本部、県警、自衛隊三重地方協力本部、東部地域住民自治協議会などが協力、伊賀市社会事業協会が後援し、親子そろって17の体験プログラムに参加しました。

〈取材:内牧 幸子、写真:縄手 稔〉

イザ!カエルキャラバン!の遊び方

1



あそばなくなったおもちゃを
もってきます!

2



かえっこバンクにもっていきカエル
ポイントにかえて
もらえるんだよ!

3



そのポイントで
かいじょうの
おもちゃと
かえっこできるよ!

4



いろいろな防災
プログラムをたい
けんするとポイント
がもらえるよ!

5



ポイントをためて
かえっこオークション
にさんかすること
もできるよ!

かえっこバンク



あそばなくなったおもちゃを
かえっこバンクにもっていき、
カエルポイントにかえてもらう。

ポイントを使って交換する
ぬいぐるみやおもちゃを
品定めしていました。



*参加者の声

- 高齢者の女性の方が45年前に子どもが使っていたという、木のおもちゃをきれいに保存してあり「捨てるのはしのびないと思ったので今回持ってきました」。
- 一年生の男の子が、小さい時に使ったゲームとぬいぐるみを大切に袋に入れて「また使ってもらえるならうれしい」といって持ってきてくれました。



レジコーナーへもっていき、ポイントを使って、
ほしいおもちゃを交換しました。

かえっこオークション

- 防災訓練をするとポイントがふえるので欲しいおもちゃのある子どもたちは、我も我もと防災訓練に参加しました。このオークションはたいへん効果がありました。

*参加者の声

- 7才の男の子は「電車のプラレールと交換してうれしい」と笑顔でした。
- 小学生の男の子は「オークションを楽しみにしていたので最後までいます」と言っていました。



バケツリレーなど防災を楽しく勉強

体験プログラム 防災訓練に参加するとポイントがもらえます。

対決！ バケツリレー

勝った組は5ポイント
負けた組は3ポイント



- バケツリレーは競争方式だったので参加していた子どもは必死だった。普通にするより効果がありました。
- 小学4年の男の子は「火事を見つけたらバケツを運んで火を消したい」。
- 7才の男の子は「火事の時に役立ちます」と話していました。

AEDの使い方

1ポイント



小学1年の女の子は「倒れている人を見つけたら助けたい」と言っていました。

ジャッキアップゲーム

3ポイント



ジャッキがなかなかうまく回せない。

水消火器でのゲーム

3ポイント



的に水が当たれば、ひっくりかえってカエルの絵にかわる。

火おこし体験

1ポイント



もうすぐ火がつくぞ、頑張れ!

消防隊、機動隊レスキュー車等の展示

1ポイント



消防隊や自衛隊の制服を着て記念撮影

1ポイント



煙道体験

1ポイント



体験プログラムは全部で17コーナーあり、その他紙皿の折り方、持ち出し品（非常時）なあとクイズ、応急手当ワークショップ、人命救急セット・防災パネル展示、クレーン車の試乗、非常食・非常品の展示・使用体験、絵本・紙芝居読み聞かせ等がありました。

実行委員会、伊賀市消防署、県警、自衛隊、民生委員児童委員、市レクリエーション協会、赤澤理事長はじめ伊賀市社会事業協会、(株)キタモリ、上野ガス(株)、NPG法人プラス・アーツなどのスタッフの皆様方ご奮闘御苦労様でした。

中島耕士実行委員長は「いい天気にもぐまれて、多数のスタッフに協力していただき、大勢の参加で、成功に終わったと思います。カエルキャラバン（おもちゃの交換）を中心としたおかげで遊びながら防災体験ができたのでよかった。一石二鳥です」とコメントしました。

「住むまちを地域で守る強いまち」と自主防災訓練



防災防犯交通安全部会
竹島部会長



東部地域
住民自治協議会
服部会長

10月31日(土)9時から上野東小学校グラウンドにおいて、約450名が参加して、第8回東部地域住民自主防災訓練が開催されました。始まったところは強い風が吹きましたが、まずまずの天候に恵まれて、近い将来巨大地震が発生すると叫ばれている中で、ひとりひとりが真剣に訓練に取り組んでいました。

東部地域住民自治協議会の服部会長は、「巨大地震が発生したら、各町内の自治会が中心に動き、日頃の付き合いを大切にして、向こう3軒両隣りがお互いに助け合う組織にしていきたい」また竹島部会長は「本当に大きな地震が発生したと思い、全員真剣にとりくんでほしい」と話していました。

避難訓練



8時50分伊賀地域を震源とする震度6強の地震が発生したとの想定で各自治会単位で避難訓練が開始されました。

緑ヶ丘東町においては、自治会の住民の方々17名が根本坊池の東側にある公民館に避難しました。避難者が名簿に記帳後、白井自治会長から本日の訓練の内容の説明がありました。その後避難者の中で小学校4年生の女の子が怪我をしたと想定して「要援護者」となり、リヤカーに乗って東小学校まで避難しました。リヤカーには座布団がしかれていましたが、女の子は「足が痛かった、腰も痛かった、しかしいつもの小学校登校の時よりは乗せてもらったので楽だった、来年も参加したい」と話していました。



緑ヶ丘東町、要援護者を
リヤカーにのせ避難

訓練コーナー



消火防災訓練



炊き出しに生徒が応援

炊き出しに、緑ヶ丘中学校の女子バレー部の生徒16名がクラブ練習後応援に駆けつけてくれました。「炊き出し作業は初めての経験です。ほんとうに災害が発生したら活躍したい」と話していました。



地震体験車

煙体験、救護訓練、救出訓練、消火訓練、地震体験車等がありました。

(取材：縄手 稔)

部会だより 夏～秋編

防災防犯交通安全部会

隣接する防犯ボランティア団体による「合同不審者対応訓練」



7月11日(土)午前10時より、伊賀警察署・東部、南部住民自治協議会が合同で訓練を行い約30名が参加しました。

緑ヶ丘中学校校門付近に不審者が出没したという想定で、青パトが偶然発見し、110番通報、そして各自自治会に一斉連絡しました。

この訓練を今後のパトロールに生かし、警察からは東部、南部の境界が手薄になるので、隙間のない活動をお願いしたいと話されました。

人権啓発部会

世界遺産「高野山」を訪ねて



9月25日(金)午前8時そぼふる雨の中、参加者21名を乗せたバスは「高野山」に向け出発しました。

当日は「恵光院」の御住職の講和を拝聴、人に対して感謝の気持ちを忘れずお互いを認め合い尊重することの大切さを勉強することができました。

昼食後は、若い僧侶の案内で「奥の院」へ足を進め、この日は雨霧が立ちこめる幻想的な水墨画の風景にも巡り会うことができました。

環境保全部会

環境学習会「みずの町」郡上八幡



11月6日(金)、午前8時に参加者45人をのせたバスが「みずの町」郡上八幡に向け出発しました。

到着後、古い町並みやきれいな水路を散策し、また水との関わりから維持管理までの苦労話も聞きました。

この地の湧水は昭和60年環境省から名水百選第一号に選定され脚光を浴びました。水路は防火用水だけでなく、生活用水としても利用され、水を大切に少しだけでもきれいな水を川に戻さなければならないことを勉強しました。

学校だより 夏～秋編

♪～みんなで歌って踊ろう～♪

人権コンサート ワウヘミカンキ
フォルクローレ コンサート

木々の紅葉がきれいな季節、11月21日(土)、9時40分～11時、上野東小学校体育館に於いてPTA主催の人権コンサートが開催されました。

人権コンサートという企画でありながら、難しい話はひとつもなく、ペルーの音楽に合わせて参加した大人も子どもも全員が、耳や体で異文化に親しむことのできるすばらしいひとときでした。

演奏したグループ「ワウヘミカンキ」は、ペルーの原住民の言葉(ケチュア語)で「みんな、私の兄弟です。」という意味です。地球上のみんながこのような考えでくらししていけば、差別もなく平和な社会になれると思いました。



「ワウヘミカンキ」のプロフィール

「ワウヘミカンキ」は、南米アンデス山脈で古くから伝わる民俗音楽(フォルクローレ)を演奏するグループです。伊賀上野で働くペルー人と日系のペルー人を中心に1994年から活動を始め、音楽を通じて多くの人々と友達になれば…との思いのもと、活動しています。

(取材: 林田 恵美)

サツマイモ畑、桑畑から住宅地に変貌

わが町は、旧市街地の南東に位置した高台で、一昔前までは水利が悪く、一面サツマイモ畑、桑畑が広がっていたそうです。

上水道が完備するや、根本坊池を囲むように開発が加速し、自治会発足当時70世帯からスタートしたと聞いています。平成24年にはJAが開発したJAタウンに38世帯の入居者があり、現在は人口1,060人(伊賀市人口の1.1%)世帯数480の規模となりました。

新しく開発されたJAタウン



桑畑だったところが、今は住宅地



上野東部地区市民センター移転地

わが町の標語は「この町に住んでいてよかった」



わが町の標語は「この町に住んでいてよかった」です。昔からお住まいの方、新しく転入された方、アパートマンションにお住まいの方、新旧混在した町です。住民とのコミュニケーションを計るため、春の「町内旅行」、7月には「大人と子供のふれあい会」、9月の「敬老会」等々の行事を自治会で行っています。

渡り鳥が来る「根本坊池」

晩秋から根本坊池に、沢山のカモ等の渡り鳥が飛来して冬の風物詩として楽しませてくれます。「今年も来ました、来年も来ますと言って北へ帰ります。」春には池の堤にはたいへんきれいな桜が咲き、春を満喫させてもらっています。

また来年後半、伊賀市消防本部庁舎、再来年には上野東部地区市民センターの移転、広大な運動場の有効活用、東の端ですが重要な拠点となるのではないのでしょうか。

(寄稿:自治会長 白井 三十二)



冬の風物詩、
渡り鳥の飛来



根本坊池堤の桜



子ども会シリーズ ⑤

緑ヶ丘中町児童福祉会

「子どもたちと地域の方々と共に楽しむ」を大切に

緑ヶ丘中町児童福祉会は、現在幼児から小学六年生までの49名で活動しており、年間の行事は上野天神祭への参加、ボーリング大会、夏祭り、年3回の廃品回収、町内運動会、日帰り旅行、夏休みのラジオ体操、クリスマス会、スケート大会、一迎六送会等々盛りたくさん開催し子どもたちと地域の方々と共に楽しんでおります。

保護者、地域の方々に支えられて

町内運動会



上野天神祭へ参加



今年の夏祭りは台風で中止となり残念でしたが、後日夏休みのラジオ体操の後、くじ引きなどをして景品を渡すことができ喜んでもらえました。

日帰り旅行は、キッチンプラザ大阪に総勢61名、大型バス2台で行き、お父さんたちと一緒にバスの中はにぎやかで、目的地に入っても世代間関係なく、楽しく遊んでいる姿を見てとても微笑ましいと思いました。今年のクリスマス会は、地域の「なかよしサロン」の方々と一緒にビンゴ等のゲームをして楽しく過ごす計画をしています。

他にもたくさんの行事があり、役員は準備等大変ですが子どもたちに喜んでもらえるように考え、共に楽しんで参加しております。子どもたちだけでなく、保護者の方々や地域の方々の支えがあって成り立っていると思いますので、これからも交流を積極的に深めて、楽しい児童福祉会にしていきたいと考えております。

廃品回収



日帰り旅行



(寄稿：緑ヶ丘中町児童福祉会 会長 池住 真維子)

車坂町趣味の作品展 開催のおしらせ

平成27年12月19日(土)~20日(日) 車坂町集議所にて

絵画、写真、手工芸、盆栽、陶芸、書、彫塑、絵手紙等
*多数の方々のご高覧お待ちしております。

地区市民センター改修の進捗状況について



現在、プロジェクトチームは上野支所振興課・建設住宅課と地区市民センター改修について交渉しており、各階の部屋等についてのレイアウトは下記図面の通りで合意しました。

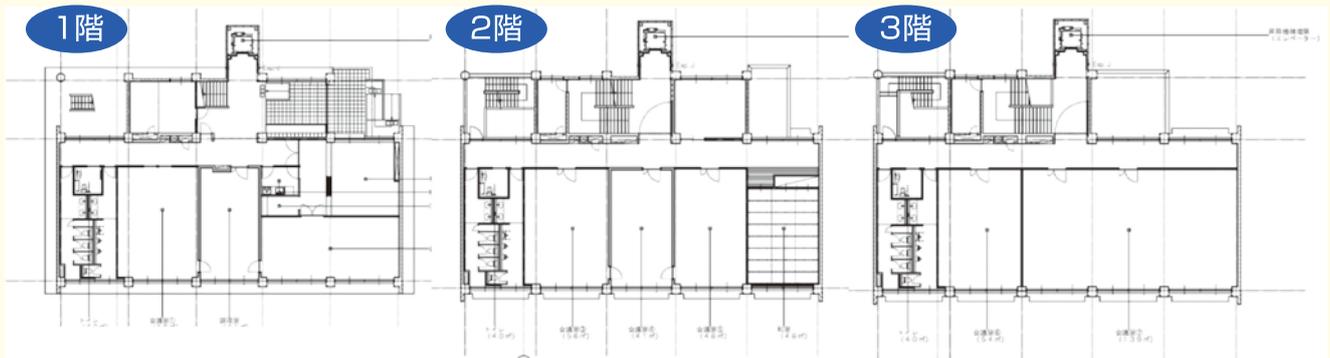
しかし、改修時に含む付帯設備についてはリストで要求はしておりますが、設計業者が決定してからの交渉になりますので12月初旬を目途に考えています。

また、移転する地区市民センターは現状の3倍の面積1,052㎡あり、各階については

- 1階：事務室・料理教室ができる調理室、ワンコインカフェを併設した地域の住民が何時でも憩えるスペースを確保。
- 2階：洋室3室、和室1室があり、子育て支援や読み聞かせ教室など子ども教育に欠かせないスペースと会議や各種サークル活動のできる洋室の確保。
- 3階：会議、講演会、ダンス、コーラス、文化祭、展示会等ができるスペースの確保。

今後の東部地区市民センター移転改修スケジュールは

1. H27年10月 ・設計業者の入札
2. H27年11月9日 ・設計業者は(株)上野建築研究所と契約 実施設計について支所・関係各課と細部にわたって打合せ
3. H28年3月 ・3月議会に改修工事費予算案を上程予定
4. H28年4月 ・改修工事の業者入札予定
5. H28年8月 ・改修工事開始予定～H29年3月完成予定
6. H29年3月末 ・地区市民センター兼公民館運用開始予定



ホット
コーナー

冬から
春へ



すべての冬を過ごせますように ☆ すべての春を迎えられますように

いとうめえ

編集 後記

今年度は縄手新部長のもと、みなさんに読んで頂く広報発行をめざし進めてきました。

振り返ってみれば、上野東部だよりの発行と東部地区の新しい市民センター建設計画記事、これからの広報のあり方としての検討、等ありました。

また、ある新聞の記事に「どうする？ 自治会・町内会」のタ

イトルでいろんな問題が取り上げられていました。

記事を読んでみて、ボランティアとは何だろうか？ どのような状態で、どこまで協力できるのか？ と考えさせられました。

「ボランティアとは自主的に無報酬で公共のために行動を起こす。」とありました。自分や身の廻りのことを考えると自分のできることは何だろうか？ 思いを巡らせています。

(中瀬 國男)